

海上保安庁 海洋情報部

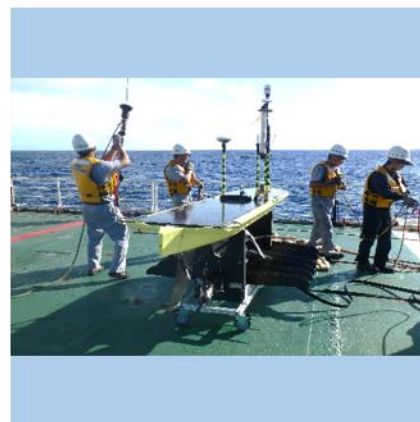
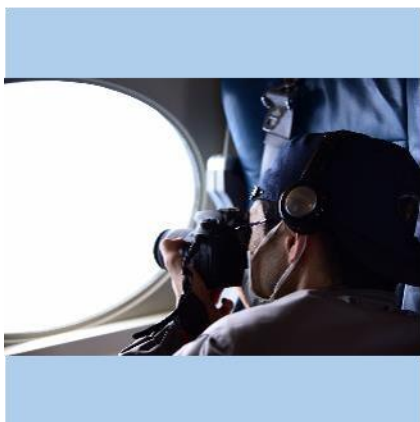
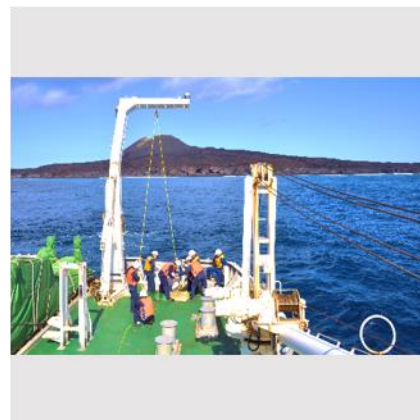
職員募集

受付期間：平成30年7月下旬

一次試験：平成30年9月下旬頃



海上保安庁海洋情報部は、日本の経済を支える海上交通に不可欠な海図などの航海用刊行物を提供しています。近年では海に関する多様なニーズに応えるため最新技術を駆使した海洋調査を行い、膨大な科学的データを整備しています。海洋調査と情報の提供を通じて、新たな海洋立国の実現に貢献しています。





我が国の正確な位置を把握し、海図作成の基礎となる観測を日夜行っています。

人工衛星レーザー測距観測業務

下里水路観測所
入 庁：平成24年4月
出身校：東京海洋大学 海洋工学部



大学で海図について学ぶ機会があり、海図の奥深さに魅了され、海図を作る仕事をしたと思うようになり、入庁を決めました。

観測所では、地球を周回している人工衛星にレーザー光を当て、日本で作られる海図の経緯度の基準となる「本土基準点」の位置を決定するための観測を行っています。海図作成の基礎となる業務に携わり、船舶の安全運航に貢献できるこの仕事に、やりがいを感じています。

海洋情報部は他にも様々な仕事があり、幅広い分野の業務に携わることができる職場です。

航海安全のために海図作製に必要な沿岸域の海底地形調査、海岸線の測量を行っています。

仕事の成果が海図という形で残る

管区 海洋調査課 測量担当
入 庁：平成28年4月
出身校：近畿大学 農学部



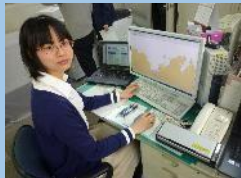
大学は水産学科で、漁網の水中での動きについて研究していました。漁をするには、海流・潮汐などの情報が重要であると知り、安全に作業するのに重要な海の情報を調査・提供をする仕事をしたいと探していたときに出会ったのが、海洋情報部でした。

現在は管区で海洋調査課の測量担当として、海図作製業務に携わっています。測量船に乗りさまざまな観測機器を使い現地調査を行っています。得られたデータは解析し、海図を最新の状態に保っています。仕事の成果が海図に反映され目に見える形で残るのは、大きな魅力であると思います。

関係機関などから得た情報をもとに、航海安全を支える情報を海事関係者に提供しています。

航海安全情報を収集し提供

管区 監理課 情報係
入 庁：平成26年4月
出身校：北海道大学 水産学部



就職活動中に参加した企業説明会で海上保安庁のブースに立ち寄ったのがきっかけで、海洋情報部を知りました。

現在は船舶交通の安全のため、各保安部署から情報を集めて提供することが主な仕事です。配属されたばかりの頃は指示されたとおりに動くことしかできませんでしたが、日々経験を重ねるうちに自分で考えて行動できるようになってきた気がします。資料と睨めっこしたり関係機関に連絡を取ったりという毎日ですが、それらの情報をまとめてユーザーに無事提供できたときには充足された気分になります。

大型の測量船に長期間乗り、沖合で海洋調査を行います。調査海域は日本全国です。

調査海域は日本全国

本庁 測量船
入 庁：平成27年4月
出身校：三重大学 生物資源学部



就職浪人一步手前、人生の瀬戸際に立たされていた私は、大学の教授の勧めで海洋情報部のことを知りました。大学での乗船経験を活かせる様な職業に就きたいと考えていたので渡りに舟だったと言えるでしょう。

現在は海上保安学校を卒業して、測量船に配属されました。私が乗っている船では、本庁海洋情報部職員と共に、陸が見えない沖合で調査や観測を行っています。測量船では様々な職種の方々と交流ができます。覚えることはたくさんありますが、毎日新鮮な気持ちで働いています。

潮流の観測、海流や水温データの収集・解析をし、航海安全のための資料を作成しています。

憧れの測量船に乗って観測

管区 海洋調査課 海象担当
入 庁：平成27年4月
出身校：福井県立大学 海洋生物資源学部



大学の授業で海洋調査船に乗ったことがきっかけで、将来は船に乗って働きたいと思い、めぐり会ったのが海洋情報部でした。

現在は福岡県北九州市で勤務し、潮流・潮汐観測、漂流予測等の業務を担当しています。私が特にやりがいを感じているのは関門海峡潮流観測です。憧れの測量船に乗って潮流の速さを測り、その結果を関門海峡の潮流信号に反映させ、船舶の航行安全に役立てています。

また、海洋情報部は今年度より新たな観測機器を導入するなど、最新の技術に触れることができる点も大きな魅力です。

海洋情報部内での海洋調査等の職員の研修、水路測量の許可などの事務を担当しています。

最新鋭の海洋調査技術

本庁 技術・国際課
入 庁：平成24年4月
出身校：東京海洋大学 海洋科学部



大学で海に関することを勉強しながら「海洋関係の仕事には就かない」と決めていた私は、海洋情報部の仕事を入庁するまで知りませんでした。募集締め切り日に偶然パンフレットを見たのをきっかけに、今では海上保安庁職員として仕事をしているので不思議です。

海洋情報部では最新鋭の海洋調査機器を扱うため、部内研修が必要となっており、現在はその事務を担当しています。そのほか、水路測量の許可などを担当しています。

他にもあまり知られていない業務がありますが、海に興味がある方なら、それぞれの業務にやりがいを感じることができると思います。

